

津波対策検討委員会の概要

北海道開発局

平成23年9月20日

「津波対策検討委員会」の概要（1）

北海道開発局では、チリ中部沿岸地震津波の対応時に散見された課題を踏まえ、今後の津波対応に関する一層の強化を図るため、学識経験者等から構成される検討委員会を設置しH22年度より検討を始めました。

H22年度は、遠地型津波に関する対応策に関して中間報告を取りまとめ、今年度は、近地型津波に関して 東日本大震災から得られている多くの教訓や課題を踏まえると共に、北海道特有の課題・視点を付加した検討を行い、中間報告と合わせ津波対策の提言を取りまとめ、今後、北海道開発局として取り組むべき津波対策を検討する基本方針とします。

各分野:【河川】【道路】【港湾・漁港】における《体制》《情報》《施設》の視点から、2010チリ津波(遠地津波)に対する対応の課題を抽出



各分野における対策方針を検討・整理
(内部のオペレーションを中心とした検討)

■ H22年度 中間報告の要旨

項目	概要
1 全般	複数の津波規模を想定した対策の推進、マニュアル作成、事業間及び関係機関との被災様相の共通観構築による連携強化 など
2 河川	施設の耐波圧照査、オートゲート化・遠隔・自動操作化、流域内の管理者間の連携 など
3 道路	複数規模の津波に対応した浸水区域設定、情報提供の強化 など
4 港湾・漁港	広域的な復旧活動の視点による拠点としての機能強化、港湾管理者への支援強化 など



H22年度委員会の状況



結氷河川への津波の影響(鷓川)



S27十勝沖地震では津波と流氷が遡上し被害を拡大させた(浜中町霧多布)

近地津波に関する対応を審議し
最終報告を取りまとめる予定

東日本大震災発生

北海道特有の
課題・視点を
付加した検討



中央防災会議
「専門調査会」等
の議論や提言

震災の教訓を踏まえ新たな課題への対応と中間報告の見直しを含め検討

「津波対策検討委員会」の概要（2）

■ H23年度 検討の視点

項目	実施方針
東日本大震災の教訓(課題)を踏まえる	東日本大震災における北海道内・東北地方の対応の課題を検証し、今後の津波対策に反映
関係機関との連携強化方策を地域の視点を取り入れ検討	釧根地域の首長や防災担当者の参画により、地域の視点を重視した検討を実施
北海道の地域特性による課題への対応	積雪寒冷地・広域分散等、北海道の地域特性に基づく視点で課題抽出と対策を検討

■ 委員名簿

氏名		所属等
委員長	河田 惠昭	関西大学教授 社会安全学部長
委員	谷岡 勇市郎	北海道大学大学院教授 地震火山研究観測センター長
〃	山下 俊彦	北海道大学大学院教授
〃	田中 淳	東京大学大学院情報学環教授 総合防災情報研究センター長
〃	木村 克俊	室蘭工業大学大学院教授
〃	高橋 清	北見工業大学工学部教授
〃	齋藤 祥司	札幌管区気象台地震情報官
〃	許士 裕恭	独立行政法人 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ長

「津波対策検討委員会」の検討スケジュール

■ H23年度 検討のスケジュール

検討内容	H22年度									H23年度												
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
※H22年度検討内容は前掲			▶																			
(1) 津波対策検討委員会の概要 1) 委員会の概要 2) 平成22年度 中間報告の確認 (2) 北海道における東日本大震災への対応 (3) 津波対策上の課題と改善方策									▶													
(1) 地域防災 1) 地域防災と開発局の関わり方 2) 住民への広報と情報提供 (2) 関係機関との連携 など															▶							
(1) 北海道の地域特性による課題への対応 (2) とりまとめ 1) 東日本大震災からの課題への対策 2) 地域防災力強化への対策 3) 地域特性からの課題への対策 (3) 今後の進め方 など																		▶				
津波対策検討委員会 (有識者委員会)			●			●	●							○			○		○			
			第1回 11/12 札幌			第2回 1/21 札幌	第3回 2/28 札幌							第4回 9/20 札幌			第5回 12/2 釧路		第6回 未定 札幌			